

I . 調査概要

報告書のみかた

- (1) 比率はすべて、各設問の不明・無回答を除く集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（％）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（％）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- (2) 百分率（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（％）の合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 2つの選択肢を集約した場合（「同感する」と「どちらかといえば同感する方である」を合計した『同感する』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。また、他の項目との比較（過去調査との差や性差など）におけるポイント差は、小数点第2位以下も有効数字として算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の差と一致しない場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- (5) 図中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- (6) 回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。

I. 調査概要

1. 調査目的

滋賀県における男女共同参画に関する意識と実態を把握し、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策に役立てるための基礎資料とする。

2. 調査概要

- (1) 調査地域 : 滋賀県全域（全市町から対象者抽出）
- (2) 調査対象 : 県内在住の満 18 歳以上の個人 3,000 人
- (3) 抽出方法 : 選挙人名簿を元に層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法 : 郵送法・オンライン調査法の併用、無記名方式、督促 1 回
- (5) 調査期間 : 令和 6 年 6 月 25 日（火）～ 7 月 26 日（金）
- (6) 有効回収率 : 42.4%（有効回答件数 : 1,271 件）
- (7) 調査機関 : 日本情報通信株式会社

3. 調査項目

- (1) 男女の地位に関する意識について
- (2) 男性の参画について
- (3) 家庭生活や地域活動について
- (4) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
- (5) 働き方について
- (6) 男女間の暴力について
- (7) 男女共同参画社会について

4. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を7地域に層化した。

大津地域	大津市
湖南地域	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲賀地域	湖南市、甲賀市
東近江地域	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
湖東地域	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
湖北地域	長浜市、米原市
湖西地域	高島市

(2) 標本数の配分

各地域規模の層における18歳以上の人口構成比を基に、3,000件の標本数を比例配分した。その際、各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下のとおりの抽出ウェイトを設定した。

地域別の抽出数が異なるため、回収数に集計ウェイトを加重し、補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

	18歳以上 人口 (人)	抽出 ウェイト	抽出 地点	標本数 (人)	有効 回収数 (件)	集計 ウェイト	規正 標本数 (件)
大津地域	284,971	1 / 2	48	719	312	2	624
湖南地域	278,633	1 / 2	48	704	295	2	590
甲賀地域	114,347	1 / 2	20	288	125	2	250
東近江地域	183,689	1 / 2	33	463	180	2	360
湖東地域	124,774	1 / 2	25	314	125	2	250
湖北地域	124,260	1 / 2	22	313	134	2	268
湖西地域	39,357	1	14	199	87	1	87
不明・無回答					13	—	13
合計	1,150,031	—	210	3,000	1,271	—	2,442

注1) 抽出地点は、令和2年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注2) 人口は、令和6年3月1日現在の「選挙人名簿定時登録者数」から算出した。

(3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,271件、有効回収率は全体で42.4%となり、それぞれの地域の回収率は以下のとおりであった。

	標本数 (人)	有効回収数 (件)		有効回収率 (%)	※参考 ネット回答割合
			うちネット回答		
大津地域	719	312	168	43.4	53.8%
湖南地域	704	295	168	41.9	56.9%
甲賀地域	288	125	52	43.4	41.6%
東近江地域	463	180	100	38.9	55.6%
湖東地域	314	125	75	39.8	60.0%
湖北地域	313	134	62	42.8	46.3%
湖西地域	199	87	37	43.7	42.5%
不明・無回答		13	9	—	69.2%
合計	3,000	1,271	671	42.4	52.8%

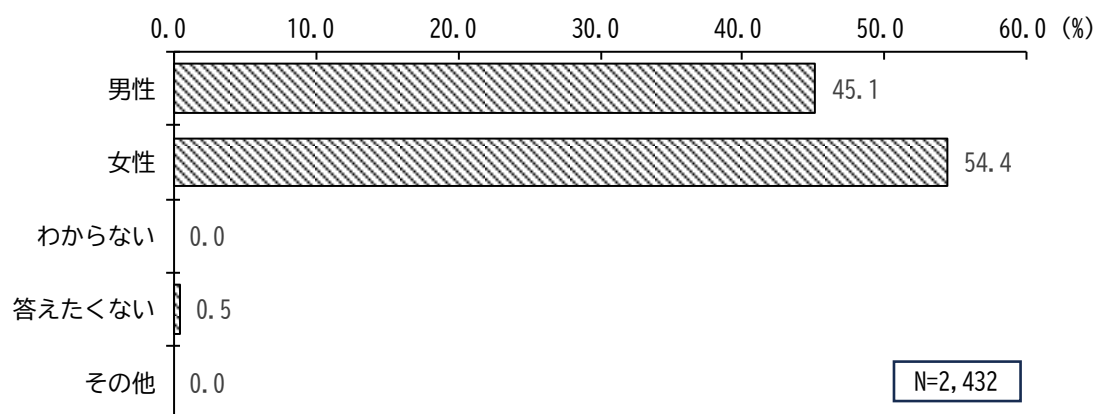
※ネット回答割合は、有効回収数（郵送＋オンライン）に占めるネット回答の割合

5. 回答者の属性

ここでは回答者の属性について、性別、年代別、性・年代別、居住地域別、職業別、婚姻状況別、最終学歴別、世帯年収（税込み）別、同居有無別で結果を示す。

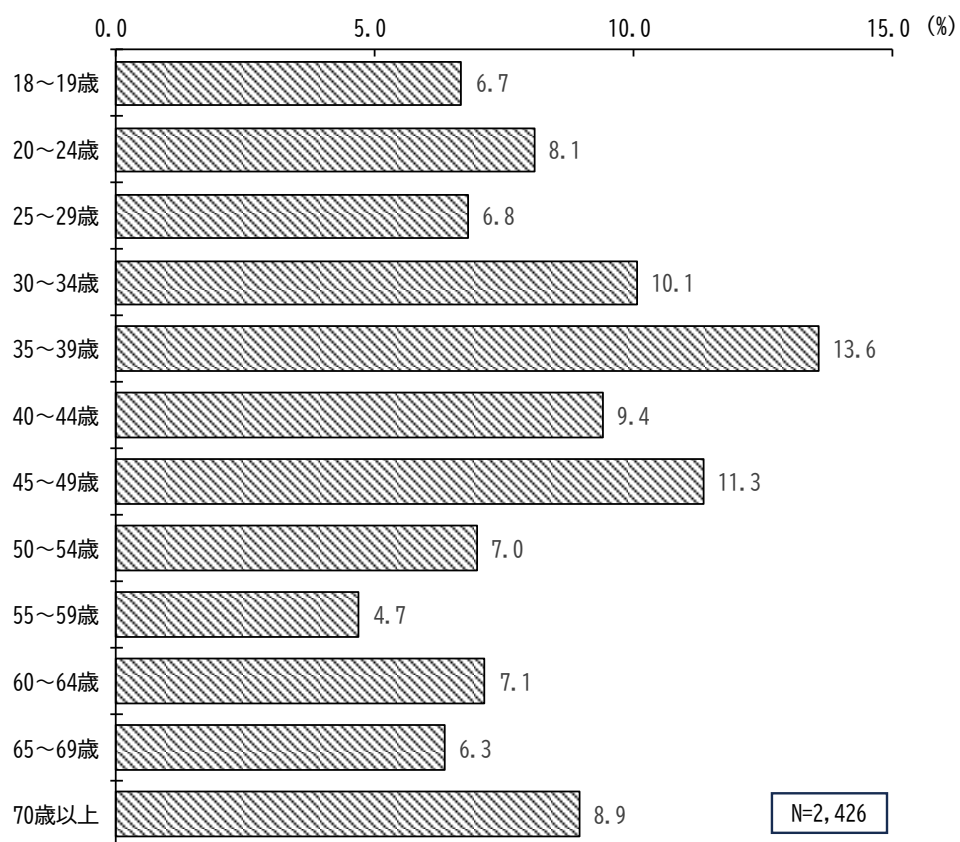
(1) 性別

性別は、「女性」が54.4%、「男性」が45.1%となっている。



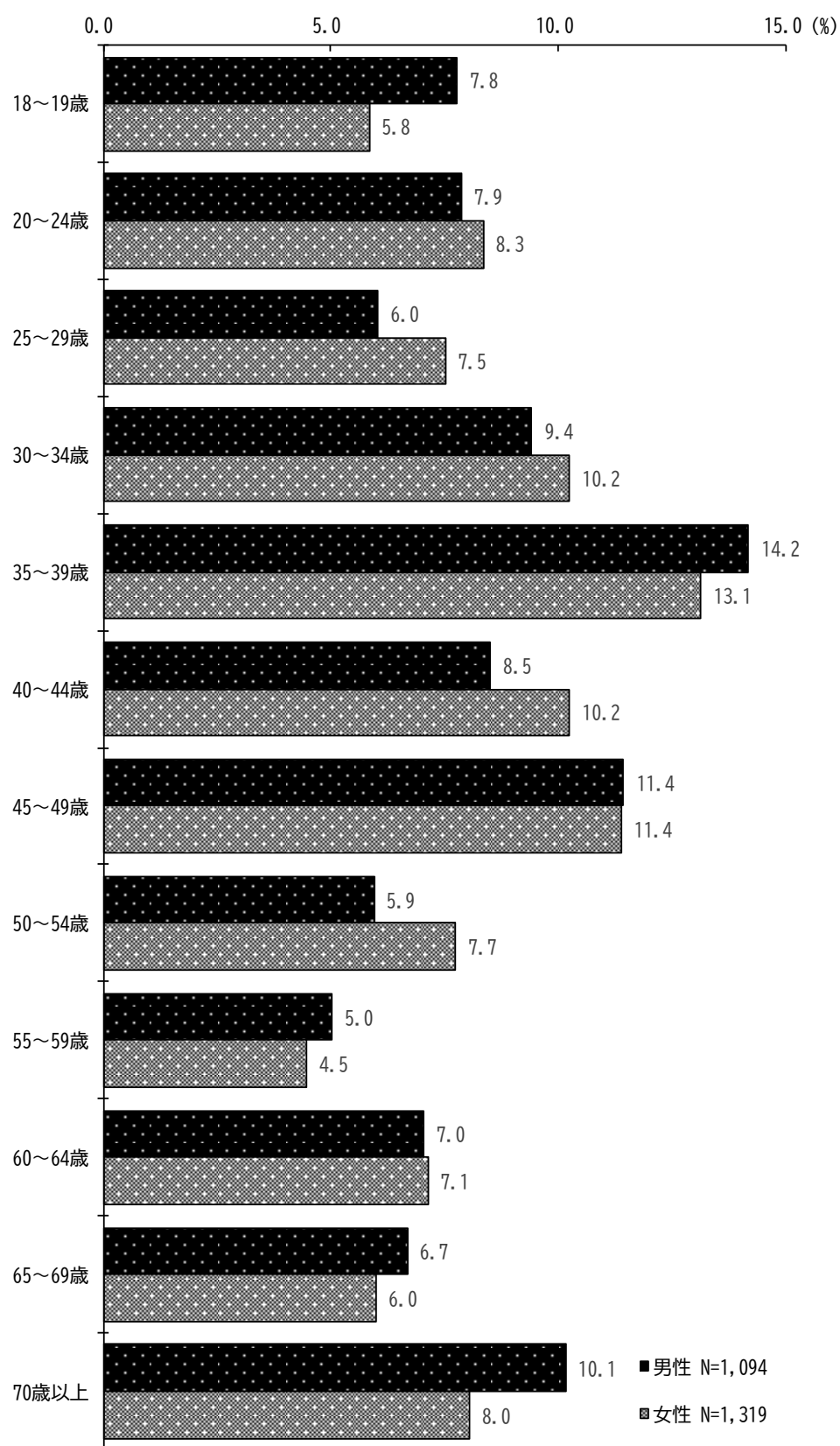
(2) 年代別

年代は、「35～39歳」が最も多く13.6%、次いで「45～49歳」が11.3%、「30～34歳」が10.1%と続いている。

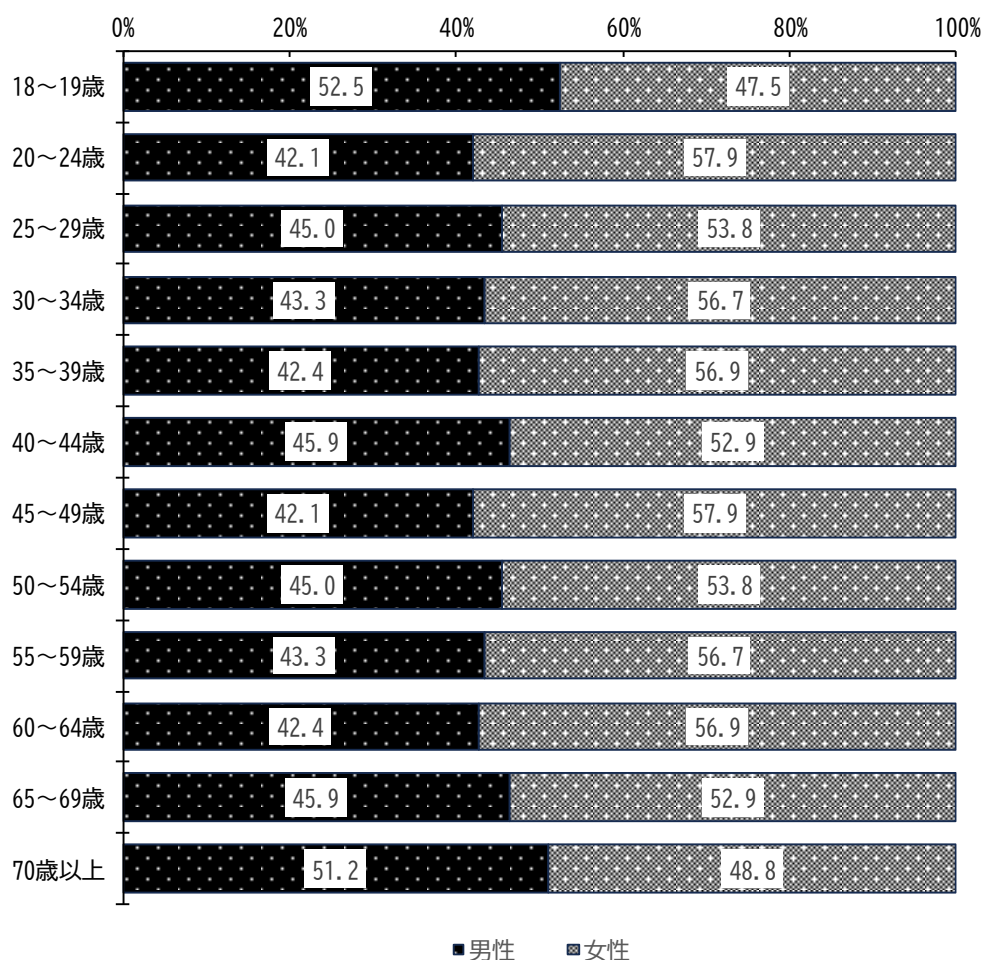


(3) 性・年代別

性・年代別にみると、「35～39歳の男性」が最も多く14.2%、次いで「35～39歳の女性」が13.1%、「45～49歳の男性、女性」が11.4%と続いている。

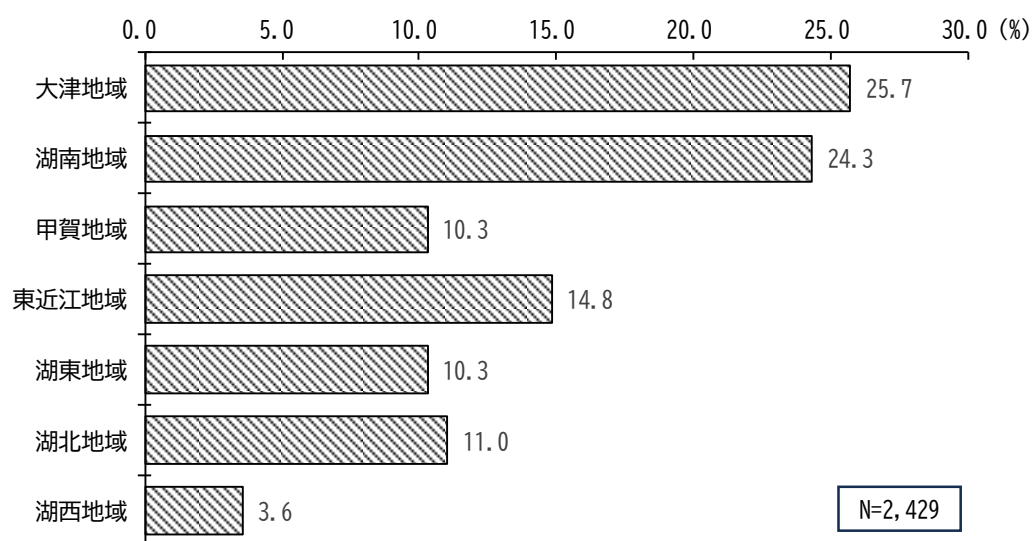


性・年代別の構成をみると、「18～19歳」「70歳以上」を除く年代は女性が50%以上を占め、男性の比率を上回っている。



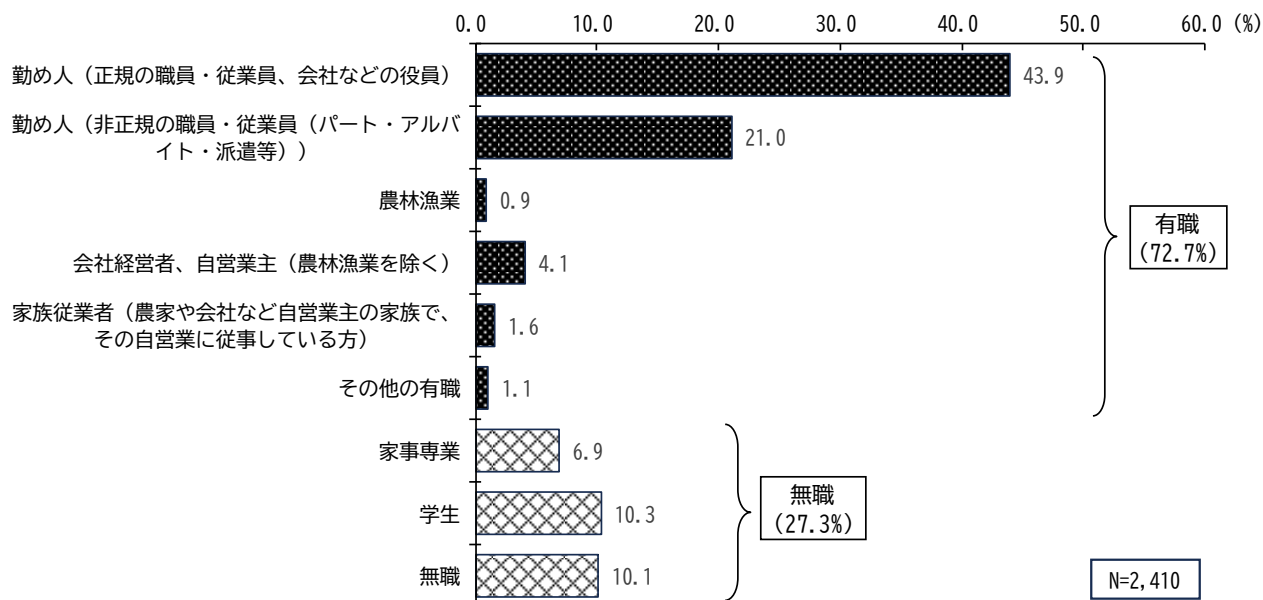
(4) 居住地域別

居住地域は、「大津地域」が最も多く25.7%、次いで「湖南地域」が24.3%、「東近江地域」が14.8%と続いている。



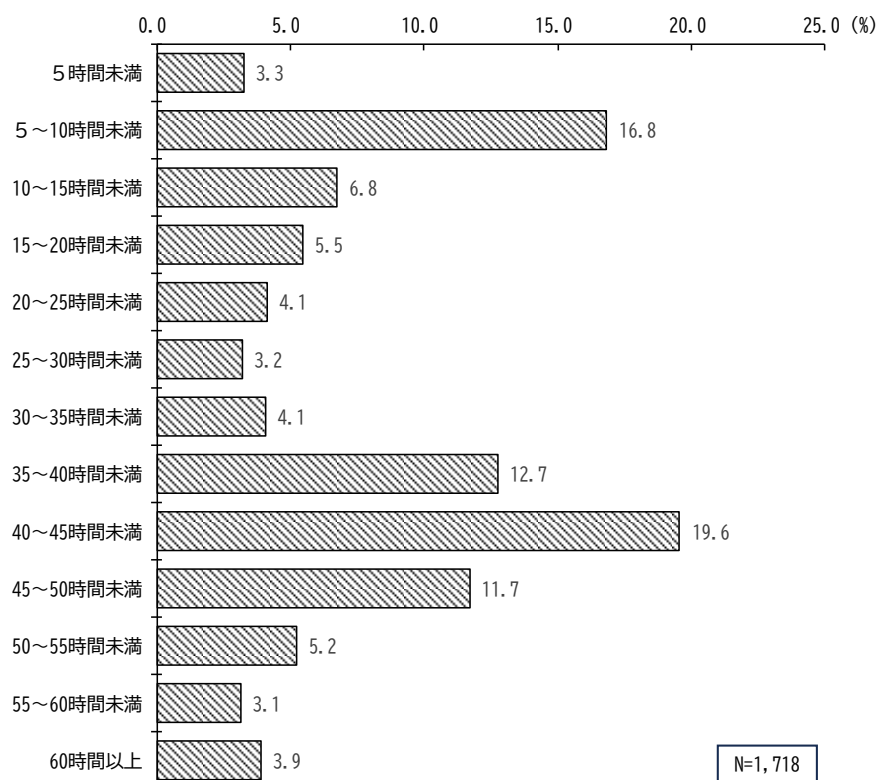
(5) 職業別

職業は、『有職』が72.7%となっており、そのうち「勤め人(正規の職員・従業員、会社などの役員)」が最も多く43.9%、次いで「勤め人(非正規の職員・従業員(パート・アルバイト・派遣等))」が21.0%となっている。これに対して『無職』は全体の27.3%、そのうち「学生」が10.3%、「無職」が10.1%、「家事専業」が6.9%となっている。



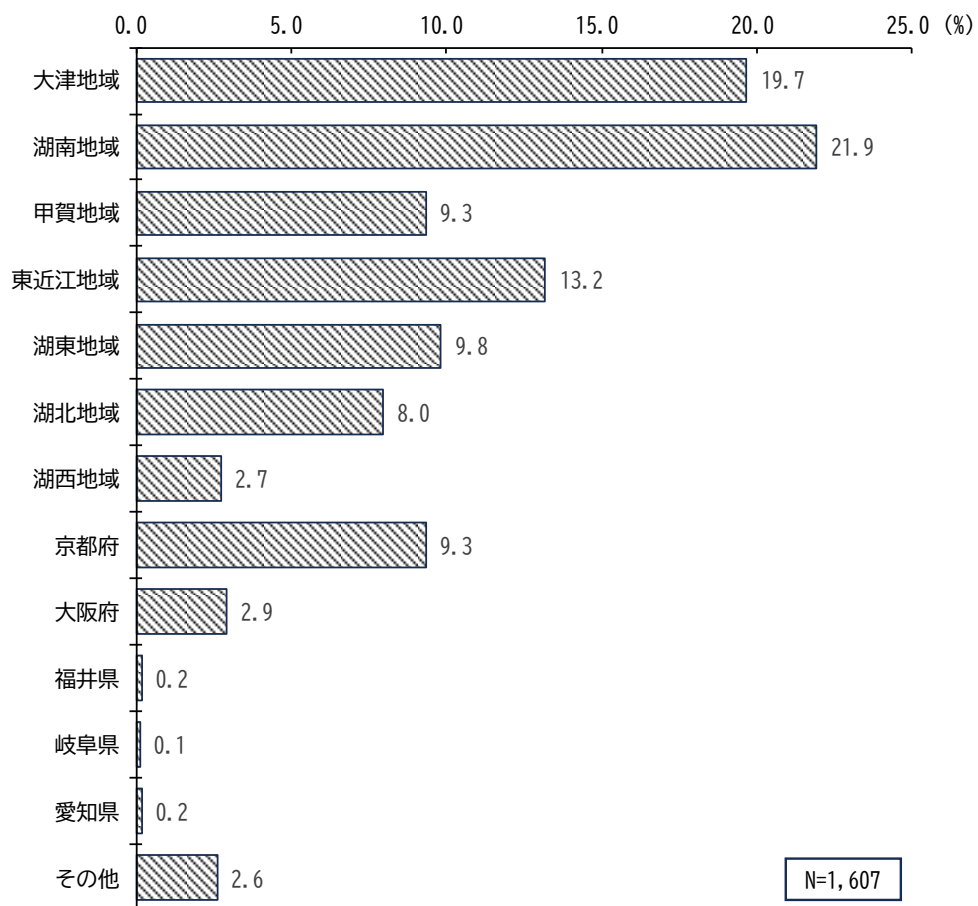
(付問1) 一週間の平均勤務時間

『有職』と回答した人に対して、一週間の平均勤務時間をたずねたところ、「40～45時間未満」が最も多く19.6%、次いで「5～10時間未満」が16.8%、「35～40時間未満」が12.7%と続いている。



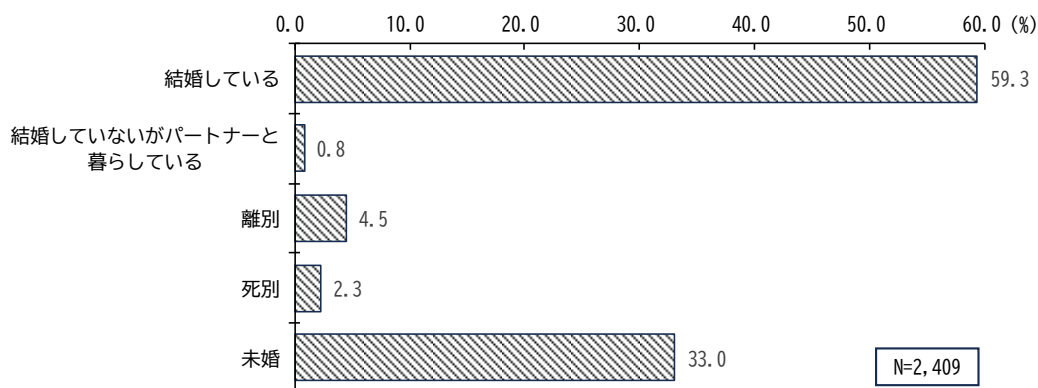
(付問2) 主な勤務地

『有職』と回答した人に対して、主な勤務地をたずねたところ、「湖南地域」が最も多く21.9%、次いで「大津地域」が19.7%、「東近江地域」が13.2%と続いている。



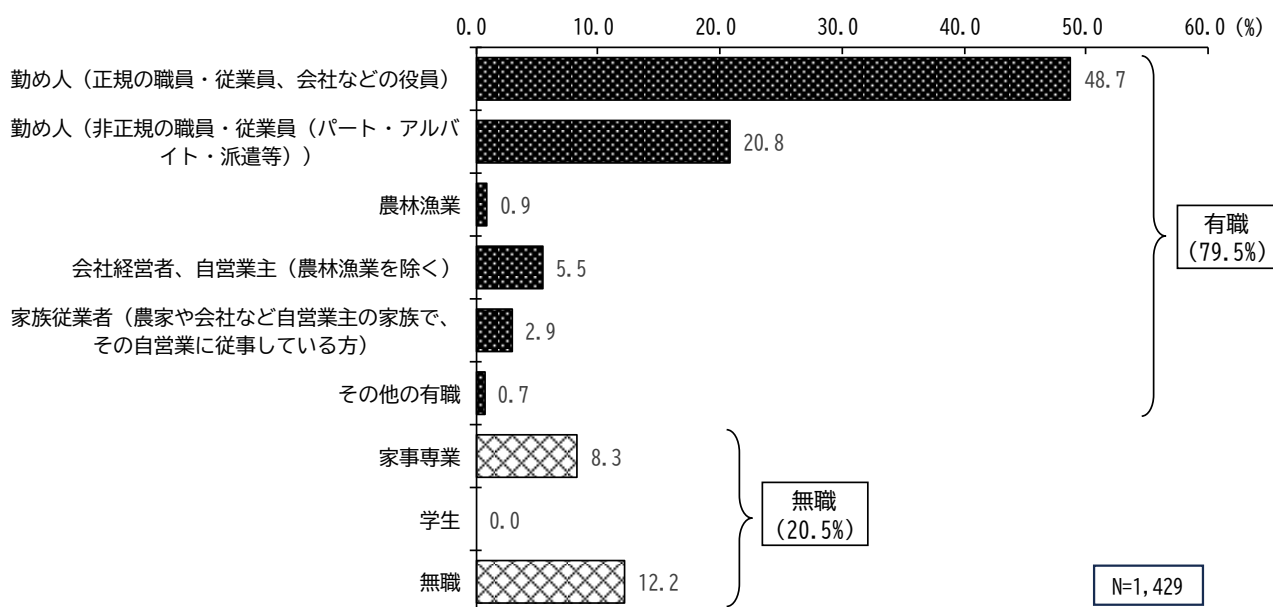
(6) 婚姻状況別

婚姻状況については、「結婚している」が59.3%となっている。



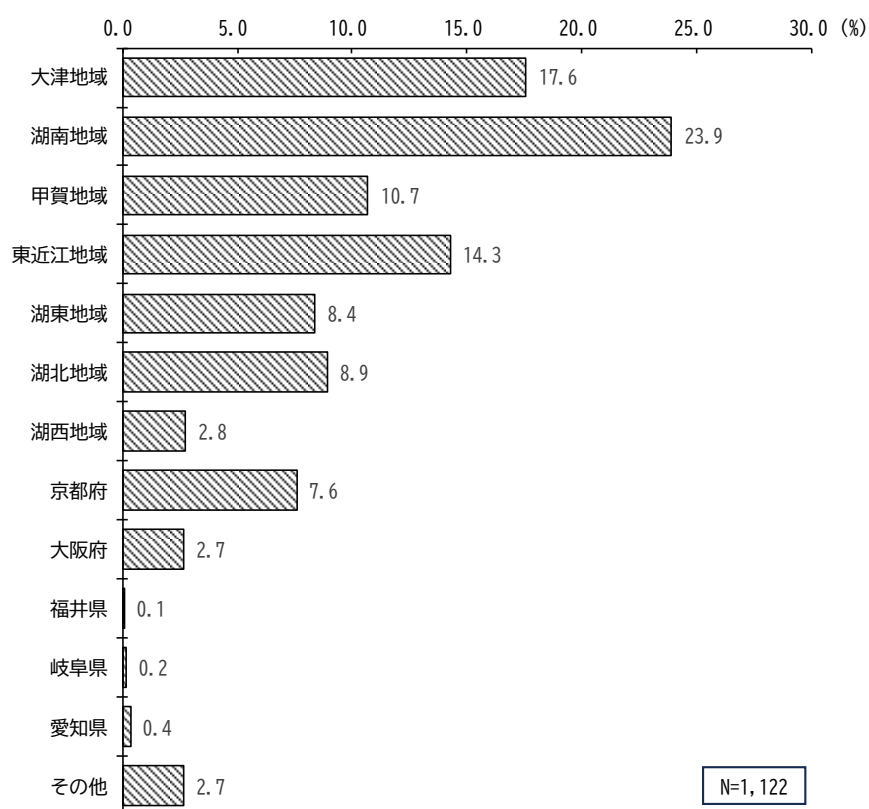
(付問1) 配偶者（パートナー）の職業

「結婚している」「結婚していないがパートナーと暮らしている」と回答した人に対して、配偶者（パートナー）の職業をたずねたところ、『有職』が79.5%となっており、そのうち「勤め人（正規の職員・従業員、会社などの役員）」が最も多く48.7%、次いで「勤め人（非正規の職員・従業員（パート・アルバイト・派遣等）」が20.8%となっている。これに対して『無職』は全体の20.5%、そのうち「無職」が12.2%、「家事専業」が8.3%となっている。



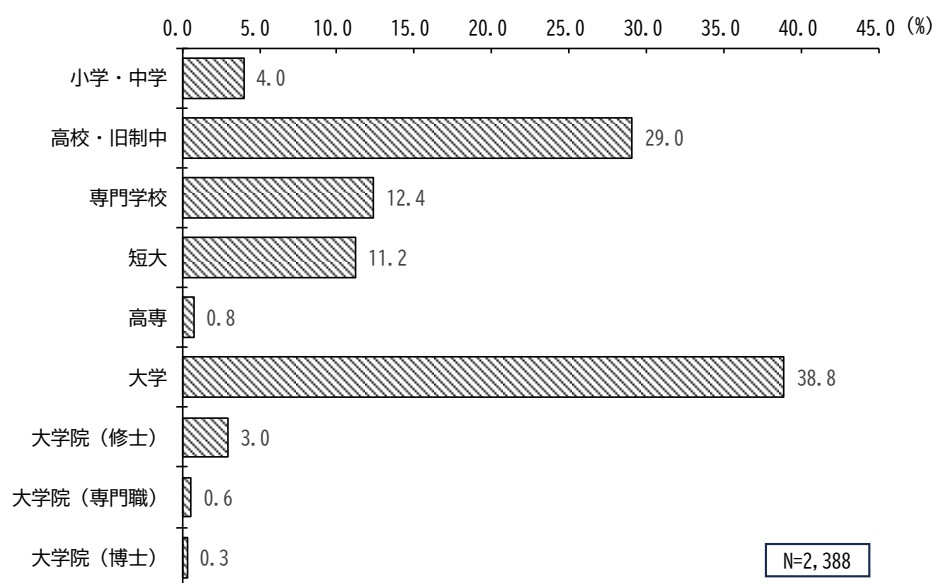
(付問2) 配偶者（パートナー）の主な勤務地

配偶者（パートナー）が『有職』と回答した人に対して、配偶者（パートナー）の主な勤務地をたずねたところ、「湖南地域」が最も多く23.9%、次いで「大津地域」が17.6%、「東近江地域」が14.3%と続いている。



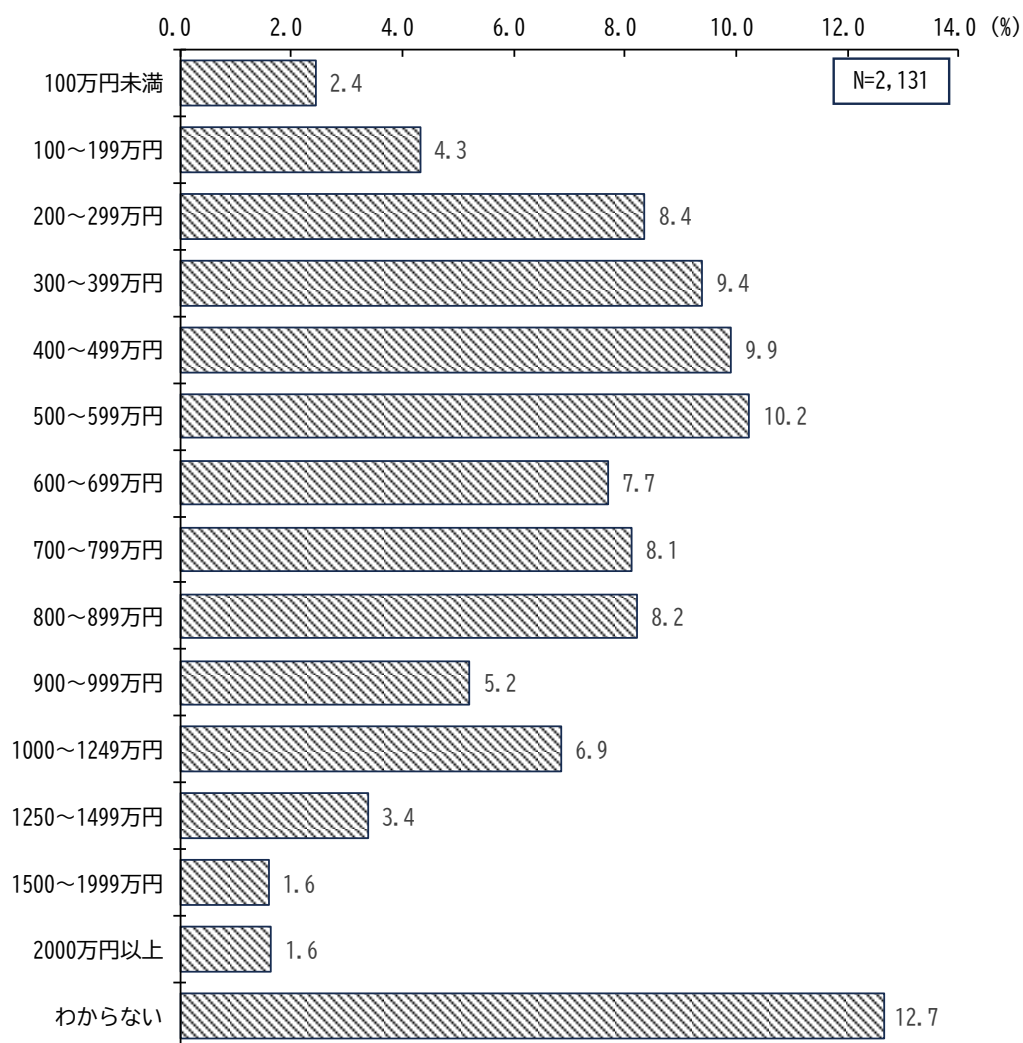
(7) 最終学歴

最終学歴は、「大学」が最も多く38.8%、次いで「高校・旧制中」が29.0%、「専門学校」が12.4%と続いている。



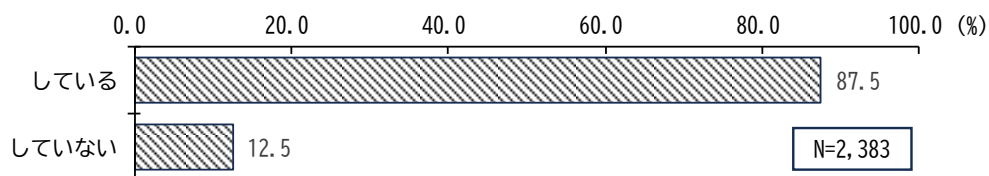
(8) 世帯年収（税込み）

世帯年収は、「わからない」を除いて「500～599万円」が最も多く10.2%、次いで「400～499万円」が9.9%、「300～399万円」と続いている。



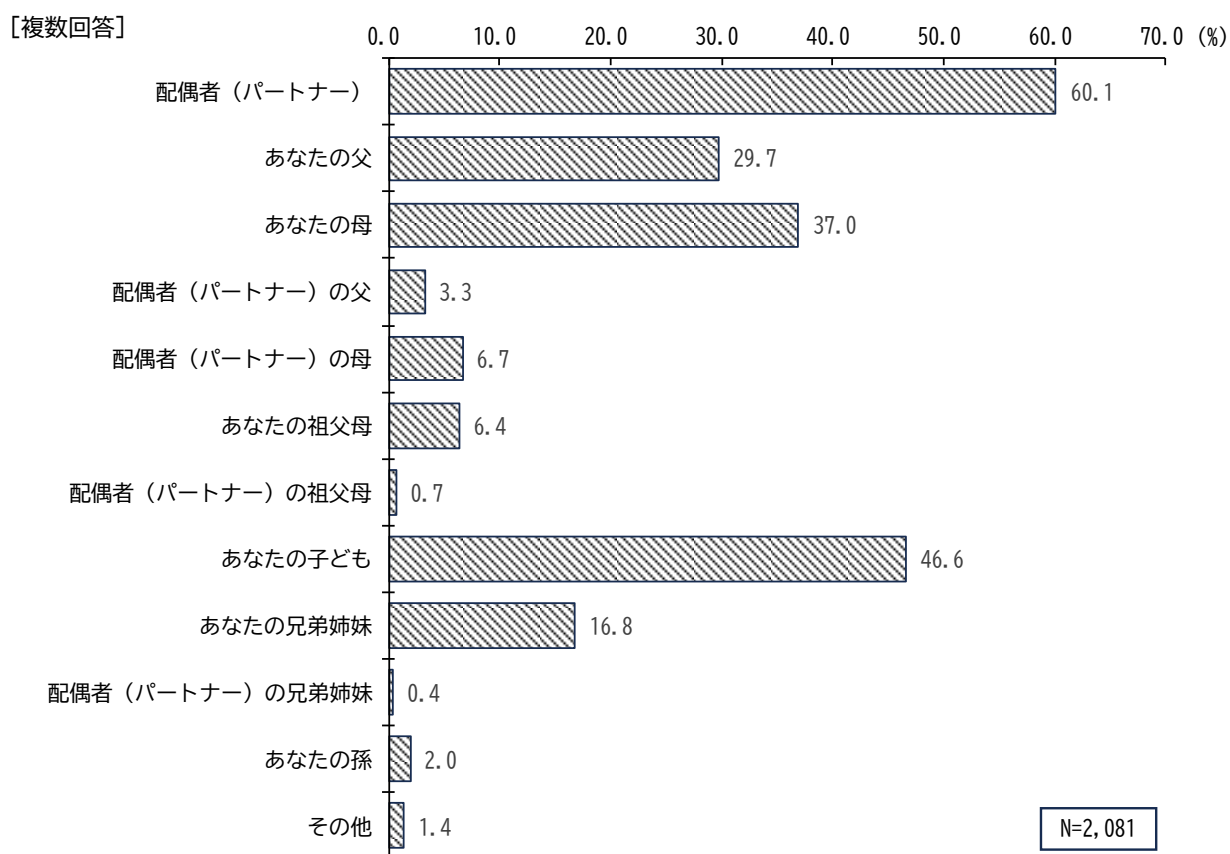
(9) 同居有無

同居は、「している」が87.5%、「していない」が12.5%となっている。



(付問1) 同居者

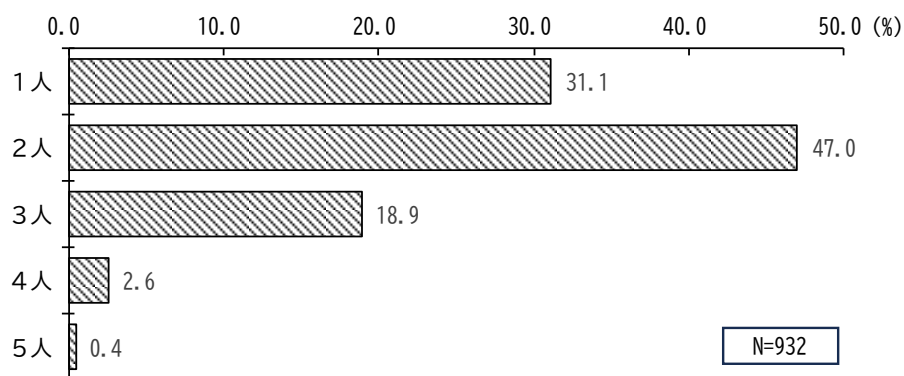
同居「している」と回答した人に対して、同居者をたずねたところ、「配偶者（パートナー）」が最も多く60.1%、次いで「あなたの子ども」が46.6%となっている。



(付問2) 子ども人数と一番下の子どもの年齢

「あなたの子ども」と回答した人に対して、子どもの人数をたずねたところ、「2人」が最も多く47.0%、次いで「1人」が31.1%、「3人」が18.9%が続いている。また、一番下の子ども年齢は、「0～6歳」が33.1%となっている。

(子どもの人数)



(一番下の子どもの年齢)

